

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成29年3月16日(2017.3.16)

【公開番号】特開2016-215048(P2016-215048A)

【公開日】平成28年12月22日(2016.12.22)

【年通号数】公開・登録公報2016-069

【出願番号】特願2016-193293(P2016-193293)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 4 E

【手続補正書】

【提出日】平成29年2月10日(2017.2.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

記録媒体に記録された情報にもとづいて遊技媒体を遊技に使用可能にする遊技機であって、

遊技媒体が入賞可能な開状態と入賞不可能な閉状態とに変化可能な可変入賞装置と、前記可変入賞装置を制御する可変入賞装置制御手段とを備え、

前記可変入賞装置制御手段は、第 1 制御パターンと該第 1 制御パターンに比べて遊技者にとって不利な第 2 制御パターンとにより前記可変入賞装置を制御可能であり、

前記第 1 制御パターンによる前記可変入賞装置の制御の終了に対応して前記記録媒体の返却操作を促す報知を実行可能な報知手段をさらに備えた

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、記録媒体に記録された情報にもとづいて遊技媒体を遊技に使用可能にする遊技機に関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

上記特許文献 1 に記載された遊技機では、記録媒体（例えば、プリペイドカード）に記録された情報にもとづいて遊技媒体を遊技に使用可能にするが、記録媒体の取り忘れが発生することがある。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

そこで、本発明は、記録媒体の取り忘れを防ぐことができる遊技機を提供することを目

的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

(手段 1) 本発明による遊技機は、記録媒体に記録された情報にもとづいて遊技媒体（例
えば、遊技球）を遊技に使用可能にする遊技機であって、遊技媒体が入賞可能な開状態と
入賞不可能な閉状態とに変化可能な可変入賞装置と、可変入賞装置を制御する可変入賞装
置制御手段とを備え、可変入賞装置制御手段は、第 1 制御パターンと該第 1 制御パターン
に比べて遊技者にとって不利な第 2 制御パターンとにより可変入賞装置を制御可能であり
、第 1 制御パターンによる可変入賞装置の制御の終了に対応して記録媒体の返却操作を促
す報知を実行可能な報知手段をさらに備えたことを特徴とする。

そのような構成により、記録媒体の取り忘れを防ぐことができる。